

倫理 6

木2 望月由紀先生

平成20年度版(2008)

授業終了
Already Finished

キーワード: 法哲学 自然法 トマス・ホブズ 法実証主義 正しさ 正義

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- ・ [Japan Knowledgeジャパンナレッジ](#)【学内限定】
「日本大百科全書」「現代用語の基礎知識」などいくつもの辞典をまとめて検索できるデータベースです。日本大百科全書の「自然法」に思想の変遷が書かれています。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

法哲学についての入門書

- ・ 『[法哲学](#)』平野仁彦 ほか著 有斐閣 2002
法哲学の概説書。法の根本問題に関する現代法哲学の展開が書かれています。巻末に各章に関する参考文献を多数掲載。
【本館閲覧室3階 321.1/HOU】
- ・ 『[ブリッジブック法哲学](#)』長谷川晃, 角田猛之編 信山社出版 2004
法律学、法哲学を学び始める読者に向けた入門書。各章毎にステップアップのための図書を紹介。
【本館閲覧室3階 321.1/BUR】
- ・ 『[法哲学入門](#)』三島淑臣編 成文堂 2002
法哲学一般について体系的に説明されており、各章ごとに基本文献案内がついています。
【本館閲覧室3階 321.1/HOU】

現代における法と正義に関する議論を知るには

- ・ 『[二十世紀の法思想](#)』中山竜一著 岩波書店 2000
ハートの言語哲学適法理論を中心に、法と正義に関する20世紀の法思想がまとめられています。
【本館閲覧室3階 321.2/20S】
- ・ 『[法](#)』守中高明著 岩波書店 2005
デリダやベンヤミンを引用しながら、法の正しさに関する現代的思考を展開しています。正しさについて解説するのではなく、法的思考の実践に読者を導く一冊。
【本館閲覧室2階 321.1/HOU】

正しいことについて考えてみる

- ・ 『[法と正義の経済学](#)』竹内靖雄 新潮社 2002
社会が犯罪を抑制し、正義を維持していくことについて、経済学の観点から考察しています。第1章「正義とは何か」に始まり、「人権と責任の経済学」「犯罪抑止の経済学」「生命倫理と新しいルール」などテーマは様々です。
【本館閲覧室3階 321.1/HOU】
- ・ 『[なぜ悪いことをしてはいけないのか? - Why be moral?](#)』大庭健, 安彦一恵, 永井均 ナカニシヤ出版 2000
3人の著者が「悪いことをしてはいけないこと」「道徳的であること」について、それぞれの立場で論じています。参考文献は著者それぞれの説明付きで、道徳について考えるきっかけとなるような文学作品も挙げられています。
【本館閲覧室2階 150.4/NAZ】
- ・ 『[倫理とは何か 猫のインジヒトの挑戦](#)』永井均著 産業図書 2003
2人の学生と先生、猫による対話と、先生の講義という形式で、「正しさ」を中心に倫理学の思想史をたどります。
【本館閲覧室2階 150/RIN】
- ・ 『[正義の感覚・理論・実現 法律は正義を実現しているか](#)』ホセ・ヨンパルト著 成文堂 2006
人間が持つ正義の感覚を、理論では説明しきれないものと捉えた上で、その実現について考える。第1部の「正義感覚から生まれた格言の知恵」が興味深い。
【本館閲覧室3階 321.1/SEI】

「正義の戦争」について考えてみる

- ・ 『[「正しい戦争」という思想](#)』山内進編 勁草書房 2006

歴史的・宗教的・現代思想的論点のそれぞれから「正しい戦争はあるのか、正しい戦争とは何か」を論じています。
興味のある章から読んで良いでしょう。一橋大学21世紀COEの研究成果。

【本館閲覧室3階 391.1/TAD】

- ・『**違法の戦争、合法の戦争 国際法ではどう考えるか?**』筒井若水著 朝日新聞社 2005
国際法、国際社会の立場からとらえた戦争について論じられています。年表形式の索引があるので、体系的な理解を深めることもできます。

【本館閲覧室3階 329.6/IHO】

- ・『**マルチチュード:「帝国」時代の戦争と民主主義(上・下)**』アントニオ・ネグリ、マイケル・ハート著 幾島幸子訳 日本放送出版協会 2005
民主的なグローバル社会の可能性についての論考。上巻第一部の戦争についての分析に、「正戦」という概念が登場します(P.48~)。(NHKブックス)

【本館閲覧室3階 311.7/MAR】

自然法についてじっくり勉強するなら

自然法についての簡単な入門書はないため、法学の入門書などの該当箇所を参考にしてください。
しっかり勉強したい方はこちらをどうぞ。

- ・『**実定法に内在する自然法**』ホセ・ヨンパルト 有斐閣 1979
第一部で自然法を一般理論によって解説し、第二部では自然法とさまざまな問題との関わりを書いています。
【本館閲覧室3階 321.1/L792】
- ・『**自由社会の自然法論**』葛生栄二郎 法律文化社 1998
自由社会における自然法の可能性について、自然法を実践の知として捉えることで自由社会と両立するものとして論じている。序論に各章の概要が書かれているので、全体を把握してから読み進めることができます。
【本館閲覧室3階 321.1/JIY】

*** のついている図書は、授業期間中(4月~8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。****

論文

関連する論文を読むとそのテーマについて詳しい情報や最近のものを読めば最新情報が得られます。

- ・ホセ・ヨンパルト「自然法(論)の神聖化と世俗化 - その歴史に関する理性と信仰の役割 - 」『**法の理論22**』179-215, 成文堂, 2003
『法の理論22』の第8章です。近代西欧におけるキリスト教的自然法がどのように人民の法へと移行していったかについて、簡潔にまとめています。
【本館閲覧室3階 321.1/H85】
- ・望月由紀「ホッブズにおける二つの自然 - 自然法と自然権」『**千葉大学社会文化科学研究**』12号, 38-51, 2006
授業担当教員の著作です。人文社会科学研究科のページで読むことができます([PDF](#))
【本館雑誌閲覧室 04チ】

身近な倫理について考える

- ・シリーズ『**現代社会の倫理を考える**』加藤尚武・立花隆監修 丸善 2002-(順次刊行中)
各巻は『**現代社会の倫理学**』というタイトルになっており、**技術**、**生命と医療**、**経済**、**マスコミ**など様々な分野の倫理について、具体的な問題に基づいて考えます。
それぞれの分野に配架されていますので、蔵書検索で確認してください。

法一般についてもっと学びたい方はこちら

- ・『**法学キーワード**』野村豊弘編 有斐閣 2002
ひとつの概念を2ページで簡潔に説明しているため、気になった箇所から拾い読みしても十分に役立ちます。この授業で扱うのは「法と法学」の項目が中心になります。
【本館閲覧室3階 321/HOU】
- ・『**現代法学入門**』(第4版) 伊藤正己・加藤一郎編 有斐閣 2005
法学の入門書。第1章の「法とは何か」は目を通しておきましょう。
【本館閲覧室3階 321/GEN】
- ・『**法**の概念』H.L.A.ハート著 矢崎光圀監訳 みすず書房 1976
法について専門的に勉強したい人に薦めたい一冊。末尾の注釈が充実しており、また原著に対する批判的著作や邦語参考文献も紹介されています。
【本館閲覧室3階 321/H325】

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

作成: [千葉大学附属図書館](#) 2008.4.1